

## 令和4年度長岡市障害者生活実態調査について

## 1 調査目的

令和5年度の「第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第3期障害児福祉計画（令和6年度～令和8年度）」の策定に向け、障害のある人の生活実態等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 2 対象者数

- (1) 身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、児童通所受給者証所持者を対象とし、種別に応じた調査票により調査を行う。
- (2) 原則として手帳及び受給者証所持者の約38%にあたる3,000人を抽出して調査を行う。
- (3) 65歳以上の身体障害者手帳所持者は、前回調査時にすでに10%抽出としており、今回はそこからさらに約38%を抽出する。  
(理由) 介護保険の対象となる者が多く含まれている。(障害福祉サービスよりも介護保険サービスが優先される。)

調査票	種別	対象者数 (見込)	備考
A	身体障害者（身体障害者手帳所持者のうち在宅の18歳以上65歳未満）	800人	継続
B	知的障害者（療育手帳所持者のうち在宅の18歳以上65歳未満）	630人	継続
C	精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者のうち在宅の18歳以上65才未満）	670人	継続
D	障害者施設入所者（県内）	110人	継続
E	高齢者（手帳所持者のうち在宅の65歳以上）	550人	継続
F	障害児（手帳所持者及び児童通所受給者証所持者のうち18歳未満）	240人	継続
	計	3,000人	

## 3 調査方法（①・②から選択）

- ① 調査票を郵送し、同封の返信用封筒（料金受取人払）により回収
- ② 調査票に記載のQRコードを読み取り、インターネット上の回答フォームから回答

#### 4 回収見込み率

70%

#### 5 集計、分析、調査報告書作成

長岡大学に業務を委託する。

#### 6 スケジュール

時期	事項	内容等
令和4年8月上旬	調査票の検討	調査票の内容について、各課に意見聴取及び反映
8月24日	令和4年度第1回長岡市障害者施策推進協議会	調査票の内容について、協議会委員に意見聴取
8月下旬	調査票の確定	協議会での意見聴取を反映(意見等なければ協議会の段階で確定)
9月下旬	調査票発送	
10月中旬	回答期限	
令和5年3月	令和4年度第2回長岡市障害者施策推進協議会	調査結果の報告

#### 7 調査項目について

##### (1) 障害者に対する調査について (A票、B票、C票、D票、E票)

A票、B票、C票については就労状況と就労意向、D票は地域生活移行に対する意向、E票は介護保険サービスの利用状況を明らかにすることを主として、以下の表に示す項目についてたずねた。

##### (2) 障害児に対する調査について (F票)

受けている教育(療育)段階に応じ、調査票を次の5つに分け、以下の表に示す項目についてたずねた。

- ・ F-1票 … 就学前の療育・教育
- ・ F-2票 … 小学校段階における教育
- ・ F-3票 … 中学校段階における教育
- ・ F-4票 … 高等学校段階における教育
- ・ F-5票 … 義務教育修了後、高等学校等に就学していない方

※詳しい項目は別紙「○調査項目概要」

○調査項目概要

A票～E票（A票：身体障害者、B票：知的障害者、C票：精神障害者、D票：施設入所者、E票：高齢者）

調査項目	調査内容及び活用方法	A, B, C (身・知・精)	D (施設入所)	E (高齢者)
基本属性	○本人の年代、障害・手帳の種類、住まい、同居者などの基本情報	○	○	○
生活の場について	○住まい・同居者についての希望、昼間の過ごし方、昼間必要なサービス（施設入所者には、入退所の意向及びその理由、退所にあたり必要な環境・サービス等を調査） ⇒各種施設・サービスの整備の検討に活用	○	○	○
スポーツ活動について	○スポーツ活動の有無、頻度、意向 ⇒スポーツ・レクリエーション振興策の検討に活用	○	○	○
仕事について	○就労の有無、仕事内容、職業訓練系障害福祉サービスの利用の有無、就労に関する意向や困りごとなど就労状況や就労について感じていること ⇒就労支援策の検討に活用	○		
介護保険サービスの利用について	○介護保険の要介護認定や介護保険サービスの利用状況 (現状把握のため調査)			○
入院・通院について	○入院・通院の有無、通院頻度 (現状把握のため調査)	○		○
外出について	○外出頻度、外出時の困りごと ⇒外出支援策の検討に活用	○	○	○
相談窓口について	○相談窓口の認知度、利用状況、利用しない理由 ⇒各種相談窓口の業務改善に活用	○	○	○
災害時について	○災害発生時の困りごと、心配ごと ⇒防災体制や災害発生時の支援策の検討に活用	○		○
障害のある人への差別について	○差別されたと感じた場面、差別解消のための必要と考えること ⇒差別解消のための施策・支援の検討に活用	○	○	○
社会生活に必要なことについて	○社会生活を営む上で必要な環境や支援 ⇒各種施策の検討に活用	○	○	○
	調査項目数	37・36・36	22	29

F-1票～F-5票（F-1：未就学、F-2：小学校段階、F-3：中学校段階、F-4：高等学校段階、F-5：義務教育修了後、高等学校等に就学していない）

調査項目	調査内容及び活用方法	F 1 (未就学)	F 2～F 4 (小中高生)	F 5 (義務教育修了)
基本属性	○本人の年齢、手帳の種類、住まい、同居者などの基本情報			
スポーツ活動について	○スポーツ活動の有無、頻度、意向⇒スポーツ・レクリエーション振興策の検討に活用			
相談窓口について	○相談窓口の認知度、利用状況、利用しない理由 ⇒各種相談窓口の業務改善に活用			
「すこやかファイル」について	○「すこやかファイル」の認知度 ⇒「すこやかファイル」の周知方法の検討に活用		○ (共通項目)	
福祉サービスについて	○在宅福祉サービスの利用の有無及びその理由、サービス充足度、サービス不足による困りごと ⇒在宅福祉サービスの整備・改善の検討に活用			
障害のある人への差別について	○差別されたと感じた場面、差別解消のための必要と考えること ⇒差別解消のための施策・支援の検討に活用			
学校について	○現在・過去の在籍校（級）、通学・通級の経緯 ⇒就学に関する相談体制の改善に活用		○	
サービス利用について	○サービス利用状況及び利用意向、サービスに係る情報入手経路 ⇒各種サービスの整備及び周知方法の検討に活用	○	○	
仕事及び生活の場について	○就労・通所の有無、普段の生活の場及び今後の意向 ⇒各種施設・サービスの整備の検討に活用			○
外出について	○外出頻度、外出時の困りごと ⇒外出支援策の検討に活用			○
相談場所について	○日常生活における相談や支援に関する相談機関・団体 ⇒相談体制の改善に活用	○	○	○
保育園や幼稚園、認定子ども園の利用について	○保育園や幼稚園、認定子ども園の利用状況 (現状把握のため調査)	○		
個別の教育支援計画及び指導計画について	○「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の有無、学校との話し合いの状況 ⇒学校における相談体制の改善に活用		○	
就学、進学、進路先について	○進路先の意向及びその理由、進路に関する悩みの有無及びその理由、学校での指導に対する希望 ⇒就学・進学等に関する支援策の検討に活用	○	○	
	調査項目数	30	38・39・39	26

